

祝 第80回定期大会 退職者会も頑張っています

後期高齢者医療制度の実施には怒り心頭です！

退職者会が今一番関心をもっているのは、四月から実施された後期高齢者医療制度です。民主党をはじめ四野党が六月六日に共同で提出した「来年四月に後期高齢者医療制度を廃止する」法案は参議院で可決され、衆議院で継続審議となっています。

後期高齢者医療制度は、①七五歳以上の人だけを他の保険制度から切り離し都道府県単位の広域連合が主体となる運営上も財政上も不安定な制度、②これまで被扶養者で

あつた七五歳以上の人にも保険料の納入義務が生じその分がこれまでの扶養者の負担になる、③後期高齢者の保険料は六五〜七四歳の人の保険料と同様に年金からの天引きが原則となる、④保険料は二年毎の見直しとなっておりさらに引き上がる公算が大である、⑤後期高齢者の診療報酬制により、患者の早期退院が迫られ、医者へのフリーアクセスが妨げられ、同一月内の複数回受診ができなくなる、など後期高齢者が長生きするのを奨めない制度です。

私たちは制度廃止に全力を挙げています！

私たち自治退は、退職者連合や地公退と一緒に年々後半から署名運動などで、この制度の施行に反対をしてきました。私たちの反対運動がきっかけともなり、四野党が廃止法案を提出しました。三月から六月にかけて、私

ち は国会の議員会館や周辺で集会や座り込みを行ってきました。来るべき臨時国会でも衆議院で廃止法案の成立（与党絶対多数で実現は困難）や、さもなければ解散総選挙を要求して行動を続けます。

年金・税制・医療・介護など、現・退一致して頑張ろう！

一昨年から年金課税が強化され（老人控除五〇万円の廃止、年金控除一四〇万円から一二〇万円に）、定率減税廃止の追い討ちがあり、これにともない健康保険料・介護保険料も上がりました。今日の物価高の中で年金額の実質減額が行われようとしています。一方では、介護従事労働者

の劣悪な労働条件をこのまま放置しては介護保険制度の崩壊ともなりかねません。安定・安心・信頼の年金・医療・介護制度の確立と、富裕者や企業の負担が少ない逆進性の強い不公平税制の改革をめざして、ともに話し合いともに運動を進めることがこれまで以上に重要だと考えます。

解散総選挙で政権交代を！

昨年の参議院選挙の結果は、自公政権に勝手な動きをさせないようになっています。衆議院解散・総選挙の要求をますます強め、公務員労働者や退職高齢者いじめの自

公政権から民主党中心の新しい政権への交代を実現させましょう。私たち退職者会も一生懸命やります。現役の皆さん、ともに頑張りましょう。

政治はもっとと智慧と大胆さを



第八〇回自治労定期大会に参加の代議員、中央委員、傍聴者の皆さん、全国各地から大変御苦労さまで。

この一年間で政治局面は著しく変化しています。一年前に、参議院での与野党逆転をかちとり、政治が自民、公明両党の思うがままには進まなくなりました。安倍に次いだ福田内閣もパツとせず支持率を落としたままで、内閣改造を余儀なくされました。

これでまた解散総選挙はどのようになるか、与野党のなかでも早まるかと任期一杯に近くなるとか、党内派閥の思惑もからんで益々混乱の感を抱かせそうです。自民、公明の側は今やれば必ず負けるといつ負の思惑があるのに、民主党を中軸とする野党の側も迫力が今一歩不足している感があり残念です。矢張り喧嘩腰で頑張ってもらいたいですね。そうすれば勤労者国民も悪政退治とばかり奮起すると思います。

高齢退職者の立場から日本の社会保障の今日的状況、明日への展望は、不安と不信でなりません。とくに後期高齢者医療制度は人間を七五歳で線引きする人権と人命無視の許すべからざる悪い制度です。十分に現退一致の緊急課題となり得るものであり、こんな機会に共通の視点で社会保障、介護、社会福祉などを一緒に考えていこうではありませんか。

現実には更に足早です。過去五年間で必要だった苦の社会保障費を一兆一千億円削減し、またぞろその骨太方針で削減を続ける動きです。一〇年間で五九兆円の道路特別会計、一年当り五兆九千億円です。この額は防衛費の年間予算四兆八千億円より多いのです。それが勝手放題の目的外使用、まさに政治不道徳です。防衛省の汚職スキャンダルと不明朗は一向に糾明されぬまま無駄使いが止みそうもありません。資金・予算を余る程持つて無駄使いが可能などころ、予算の総枠を抑制されて将来を拘束され、結局は給付の削減と保険料・自己負担の増額を押しつけられる社会保障サイド・勤労国民の苦しみ。政治はもっと智慧と大胆さを発揮して、例えば道路関係や防衛費の資金を社会保障費に回すべきです。

歴史と伝統を刻んできた自治労、私ども自治体退職者会。時代の変化、変遷のなかで新陳代謝がなされながら、その流れは不断にますます盛と期待されるべきです。「自治労」の名が発展的に無くなるとか……。青春と人生の多くを自治労とともに過ごしたたかたかってきた退職者の多くの仲間が「淋しいな」と、声を洩らしているのも事実です。その結論は自治労大会の決定に属していることですが、名前より運動の味が大切との観点を今日的にも将来的にも明示されて、大会が成功するよう願います。

全日本自治体退職者会（自治退）

会長 眞柄栄吉

全日本自治体退職者会（自治退）

〒102-0085 東京都千代田区六番町1 自治労会館二階
TEL 03-3362-5546 FAX 03-3339-7870

25万自治退に向けて、

引き続きぐっ支援を！

私ども全日本自治体退職者会（自治退）は、現在、四〇五単会（三八七単会）・二二二、一一〇人（二二六、〇九一人）―（一）は一年前―を数えます。退職者会をより大きく、より力強く、そして豊富なものにしようと思っっています。自治退結成四〇周年を迎える二〇一一年には、二五万会員を達成するつもりです。つい先ごろ結成された栃木県本部や鳥取県本部の退職者会の誕生は、自治労県本部を

挙げての準備と努力があつて、それが実ったわけですが、再任用職員を含めて新規退職者の全員が退職者会会員になるように、また、退職者会のない自治体単組に退職者会組織が結成されるように、自治労の本部、県本部、単組の引き続き変わらぬご指導、ご支援をお願いいたします。

大分 1単会 5,626名
全日本自治体退職者会大分県本部
宮崎 2単会 11,262名
自治労宮崎県本部・宮崎県庁
熊本 18単会 7,091名
熊本県庁友会・熊本県自治体・熊本市職
熊本市市友会・水俣市・荒尾市・宇土市
合志市・八代市・人吉市・天草市・玉名市
上天草市・宇城市・山都町・松橋町
熊本県市町村互助会年金の会
熊本県市町村職員年金者連盟天草支部
鹿児島 27単会 7,100名
鹿児島県・鹿児島市・薩摩川内市・曾於市
いちき串木野市・南九州市・大口市・出水市
枕崎市・鹿屋市・霧島市・指宿市・奄美市
垂水市・西之表市・南さつま市・阿久根市
日置市・さつま町・肝付町・入来町・知名町
加治木町・南種子町・屋久町・瀬戸内町
鹿児島県自治体退職者会
沖縄 9単会 1,917名
沖縄県・沖縄市・宜野湾市・石垣市・浦添市
宮古島市・那覇市・うるま市
沖縄県自治体退職者会
合計 405単会 221,120名



大阪 15単会 18,145名
大阪府・大阪市・豊中市・高槻市・枚方市
東大阪市・柏原市・茨木市・池田市・四條畷市
豊中市水道・守口市水道・大阪市学職・学給労
大阪市RR厚生会
兵庫 11単会 9,843名
兵庫県・神戸市・神戸市従・姫路市・西宮市
明石市・伊丹市・高砂市・宝塚市・春秋会
兵庫町職
岡山 5単会 2,131名
岡山県職・岡山県現業・岡山市現業・津山市
真庭市
広島 18単会 7,768名
広島県・尾道市・福山市・府中市・大竹市
竹原市・三原市・三次市・呉市・東広島市
西城町・世羅町・神石高原町・甲田町・東城町
北広島町・放影研労組・自治体合同
鳥取 6単会 1,432名
鳥取県職員東部・中部・西部
自治労鳥取県本部東部・中部・西部
島根 8単会 4,283名
島根県・松江市・浜田市・大田市・安来市
平田市・益田市・江津市
山口 6単会 3,125名
山口県・山口市・小野田市・光市・平生町
山陽町
香川 7単会 2,350名
香川県・高松市・丸亀市・坂出市・観音寺市
三豊市・香川県自治体退職者会
愛媛 2単会 50名
愛媛県職員退職者会・宇和島退職者会
徳島 4単会 3,944名
徳島県・徳島市・阿南市・自治労徳島県本部
高知 7単会 2,844名
高知県・高知市・宿毛市・須崎市・南国市
土佐清水市・香南市
福岡 6単会 11,190名
福岡県市町村・福岡県庁・大牟田市・北九州市
福岡市現業・久留米市
長崎 4単会 3,579名
長崎県友会・自治労長崎県本部・佐世保市
長崎市
佐賀 11単会 4,606名
県楠風会・自治労佐賀県本部・佐賀県職労
佐賀市・鳥栖市・多久市・小城市・伊万里市
武雄市・鹿島市・大町町

東京 38単会 11,486名
主税・労働行政・中央市場・建設・福祉保健局
都市整備環境・中央区・港区・新宿区・大田区
渋谷区・目黒区・荒川区・練馬区・世田谷区
江戸川区・葛飾区・東京都区職・調布市
府中市・八王子市・三鷹市・立川市・武蔵野市
西東京市・日野市・昭島市・福生市・町田市
清瀬市・青梅市・国分寺市・東久留米市
狛江市・六番町・都庁病院
自治労東京都本部直属・自治体合同
千葉 6単会 387名
千葉県・松戸市・千葉市・茂原市・銚子市
船橋市
神奈川 12単会 5,145名
県いちよう会・県公企労・川崎市・横浜市
横須賀市・藤沢市・平塚市・相模原市・秦野市
茅ヶ崎市・伊勢原市・横浜医従
山梨 2単会 1,528名
山梨県職員退職者会・上野原市職員退職者会
長野 5単会 5,142名
長野県・長野市・須坂市・小諸市・松本市
富山 9単会 5,295名
富山県・高岡市・魚津市・富山市・氷見市
射水市・婦中町・立山町・朝日町
石川 4単会 3,179名
石川県・金沢市・金沢市従・七尾市
福井 2単会 3,383名
福井県庁退職者連盟・福井市職労退職者会
静岡 3単会 2,275名
静岡県・浜松市・富士市
愛知 7単会 4,944名
(社)名友会・名古屋港管
豊田市・岡崎市・半田市・津島市・常滑市
岐阜 2単会 4,799名
岐阜県職員退職者会・岐阜市職員退職者会
三重 2単会 4,912名
三重県友の会・自治体職員退職者互助会
滋賀 2単会 2,469名
滋賀県友弘済会・自治労滋賀県本部退職者会
京都 4単会 3,070名
京都府・自治労京都府・京都市・京都市学職
奈良 2単会 1,343名
奈良県職員退職者会・大和高田市職員退職者会
和歌山 2単会 3,086名
和歌山県職員退職者会・海南市職員退職者会

北海道 33単会 10,654名
全道庁・札幌市労・札幌市職・函館市・釧路市
苫小牧市・旭川市・小樽市・赤平市・留萌市
紋別市・北見市・室蘭市・網走市・滝川市
富良野市・士別市・帯広市・名寄市・三笠市
稚内市・根室市・厚岸町・八雲町・長万部町
木古内町・江差町・遠軽町・中標津町・足寄町
十勝地方本部・旭川学職・札幌病院
青森 17単会 4,109名
青森県・八戸市・五所川原市・十和田市
つがる市・青森市・むつ市・三沢市・平川市
弘前市・黒石市・中泊町・大畑町・田舎館村
浪岡町・野辺地町・金木病院
岩手 11単会 2,442名
岩手県・花巻市・北上市・遠野市・宮古市
江刺市・八幡平市・金ヶ崎町・川井村・二戸市
西和賀町
宮城 11単会 2,535名
宮城県・仙台市・気仙沼市・石巻市・塩釜市
大崎市古川・大崎市岩出山・大河原町
自治労宮城県本部・仙台学職・宮社労
秋田 6単会 2,391名
秋田県・大館市・男鹿市・秋田市・能代市
由利本荘市
山形 7単会 2,113名
山形県・山形市・上山市・酒田市・長井市
川西町・自治労山形県本部
福島 10単会 5,453名
福島県・福島市・いわき市・会津若松市
南相馬市・相馬市・喜多方市・伊達市
会津坂下町・川俣町
新潟 15単会 8,492名
新潟県・新潟市・上越市・新発田市・佐渡市
長岡市・五泉市・村上市・三条市・新潟市新津
新潟市亀田・新潟市豊栄・新潟市小須戸
阿賀町・自治労新潟県本部退職者会
群馬 6単会 4,716名
群馬県・前橋市・沼田市・伊勢崎市・太田市
桐生市
栃木 3単会 2,656名
栃木県・小山市・自治労栃木県本部
茨城 8単会 3,326名
茨城県・水戸市・笠間市・高萩市・鹿嶋市
大洗町・大子町・東海村
埼玉 9単会 1,504名
越谷市・熊谷市・さいたま市・桶川市・川越市
北本市・上尾市・久喜市・小川町